



いづれももの居場所
を
はじめようとしている人のため
の
サポートブック





こどもの貧困問題がメディアで取りざたされ、こども食堂の活動が全国で広がるなど、こどもの居場所が、各地で必要とされています。

伊丹市では、家庭や学校以外で居場所を提供することで、こどもの学ぶ意欲や社会性を育み、孤立しない地域づくりを進めるために「こどもの居場所」をつくっていくことを進めています。

こどもは、大人との関わりを通してあいさつやマナーといった社会性を身に付けたり、地域で見守られながら成長していくことで、生きていく上での必要な力を学ぶことができます。

平成28年5月に伊丹市では、「さくらっこ食堂」が開設し、その後、市内各地で活動の機運が高まっています。

「こどもの居場所」を新たにはじめる人のために、手助けとなるよう、伊丹市と伊丹市社会福祉協議会（以下「伊丹市社協」という。）で先進事例を参考に、立ち上げのサポートとなる点をまとめました。それぞれの地域の状況にあわせて取り入れて、こどもの居場所をつくるために役立てていただければ幸いです。

こどもの居場所をはじめめるきっかけ

あなたのちょっとした気づきが「こどもの居場所」につながります。
知識や経験がなくても、「やる気がある」、「気になることがある」、
「集まる場がある」どんなきっかけでも大丈夫です。

ごはんを満腹に
食べられないこども
がいるなんて



おなかを
すかせている
こどもに食事を
提供したい

一人でごはんを
食べているこども
が増えているって



こどもの
「孤食」を
減らしたい

こどもと大人が交
わる機会が減っ
てさみしくなっ
たね



こどもと大人
の交流の場を
増やしたい。

こどもたちが集
まって遊ぶ姿を
見かけなくなった
ね

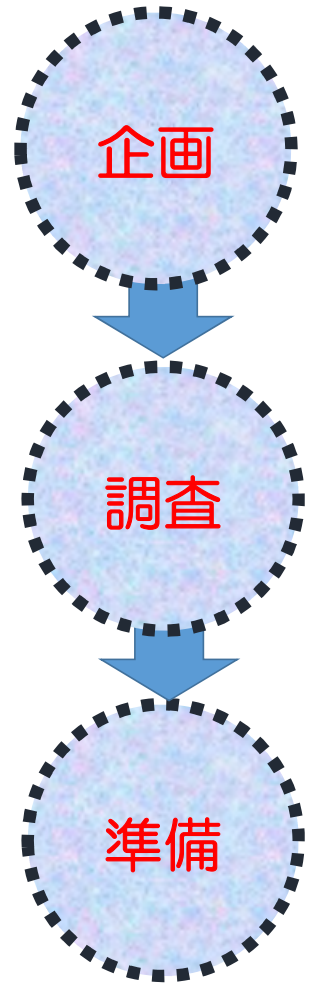
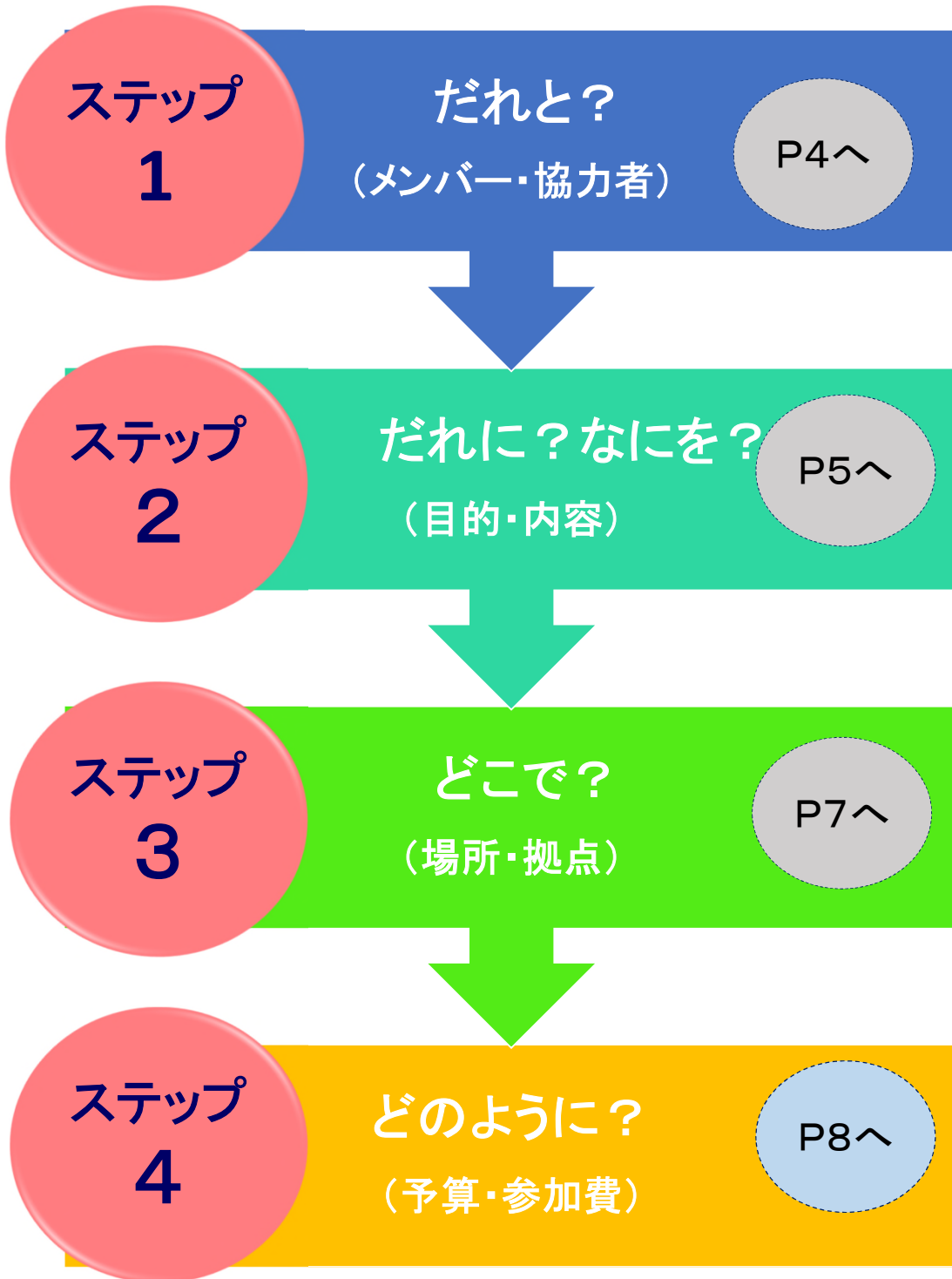


地域で
こどもたちが
気軽に集える場を
増やしたい

／／ さあ、こどもの居場所をやってみよう！ ／／

スタートまでの流れ・・・

「こどもの居場所」をはじめまでの流れは次のとおりです。
それぞれの場によって詳細な部分は異なりますが、基本的なポイントをまとめましたので、参考にしながら準備を進めましょう。



みんなでワイワイ
楽しみながら
企画しましょう!



ステップ 1

だれと？ ～協力者を探しましょう～

だれと一緒に活動をはじめますか？

どんな活動にしたいのか、まずは想いに共感してくれる仲間を探しましょう。活動は2～3人からでもはじめられますが、継続していくためには仲間を増やしていくことも大切です。

地域の人や団体は？

P T Aやボランティアグループ、民生委員児童委員、自治会、地区社協等など、地域にはさまざまな団体があります。それらの関係者から情報を集めて、紹介してもらうのも一つの方法ですね。

S N Sやインターネットで呼びかけるなど、地縁にこだわらない発信方法も効果的です。

市内の 活動例

いたみっ子だんらん食堂

伊丹小学校区にあるサンロード商店街のうどん屋『千舟屋』と、近隣の高齢者施設『オアシス千歳』が拠点となり、こども食堂がオープンしました。

商店街各店舗からの協力を得たり、施設の広いホールで体を動かしたりと、運営メンバーによる特色を活かした取り組みが行われています。参加費は、こども100円、おとな300円です。



「学習・食事・遊び」を体験できる流れになっています

ステップ 2-1

だれに？なにを？ ～目的や内容を決めましょう～

だれのための活動にしますか？

「何のための」、「だれのための活動にするのか」といった活動者の想いを形にしましょう。

「誰でも来られる居場所にしたい」、「生活が苦しい家庭のこどもに来てほしい」、「夜ひとりで過ごしていることの多いこどもたちに来てほしい」など、具体的な対象者を検討しましょう。地域のこどもたちを取り巻く課題は何か、どんなニーズがあるのか調べてみるのもいいですね。

どんな場にしたいですか？

活動拠点となる地域に、協力していただける団体があるか調べましょう。地域のこどもたちはどんな課題を抱えているのでしょうか。「朝食を食べて来ない子」、「夕飯を一人で食べる子」、「長期休みに極端に痩せてしまう子」など、どんな子たちがいるのか、学校関係者や、行政、伊丹市社協等で情報を集めてみるのもいいですね。

すでに活動しているグループに聞いてみたり、活動を見学したりするのも効果的です。

市内の
活動例

合言葉は「いっしょに食べよう」（桜台地区「さくらっこ食堂」）

さくらっこ食堂は、「こどもの孤食」、「孤立しがちなひとり暮らし高齢者」、「夜間利用率の低い施設」という地域課題を、“夕食”というキーワードでつないだ地域の居場所です。

地域の福祉活動推進組織「桜台地区コミュニティ協議会」や福祉・教育関係団体など、「地域のつながりをもっと大切にしたい」という想いを持つメンバーで構成された実行委員会がこの食堂を運営しています。

こどもから高齢者まで、誰でも自由に立ち寄れるこの食堂は、毎月100名を超える参加者で賑わい、世代を超えた笑顔と笑い声の絶えない明るい地域食堂となっています。

また、食堂に合わせて学習教室も開催され、大学生のサポーターが勉強を通してこどもに寄り添う場となっていることも、この食堂の魅力のひとつです。



参加費は、こども100円、おとな300円です

ステップ 2-2

だれに？なにを？ ～目的や内容を決めましょう～

どんな内容の場にしますか？

食事を提供する「こども食堂」、一緒に勉強する「学習の場」、レクリエーション等を提供する「あそび場」、ただいだけでいい「居場所」、どんなスタイルの場所にしたいのか話し合しましょう。

集まったメンバーでできること、拠点となる施設でできること、そして、やってみたいことのバランスを考えましょう。

いつ、どのくらい開催しますか？

1か月に〇回、週に〇回などとする定期開催型か、毎日開催する常設型か、夏休みや冬休みなどの長期休みの間だけ開催するスポット型にするのか、こどもたちが来やすい期間と、活動者の継続性を持ちやすいようバランスをとりましょう。

活動を定着させるには、概ね月1回以上開催するのが望ましいですが、「継続は力なり」です。最初は回数が少なくても、慣れていけば少しずつ開催日を増やしていくのもいいですね。



ステップ 3

どこで？ ～場所を探しましょう～

どこで活動しますか？

もともと子どもたちが自然に集まる場所や、エリアがあるか、調べてみましょう。

共同利用施設や、自治会館、福祉施設の空き部屋、飲食店、空き家など、活動内容や、想定する参加人数によってどんな拠点があるのか探してみましょう。また、食事を提供する場合は、調理ができるかなど、必要な設備も確認が必要です。

市内の 活動例

こどもも大人も、みんなでワイワイご飯を食べよう (稲野地区「あかね食堂～みんなのおうち」)

稲野小学校区にある市立障害者福祉センター（アイ愛センター）で開催されているこども食堂。

幼児から大人まで気軽に集えるこの食堂は、こどもの食育や子育てに関心のあるメンバーで運営されており、季節の野菜を取り入れた健康的なメニューが、魅力のひとつ！参加費は、こども100円、おとな300円です。

また、時には、小学生を対象とした「かんたん料理教室」なども開催しています。



～無理せず、みんなで協力しよう～

運営メンバーは、ボランティアです。

メンバー一人ひとりの力が発揮できるよう、役割分担を行うなど、負担が偏らないよう工夫をしましょう。

地域にはさまざまな特技を持った人材が多くいます。さまざまな人たちを巻き込んで活動を充実させていくのもいいですね。

ステップ 4

どのように？ ～予算や参加費を決めましょう～

どのくらいの費用がかかるでしょうか？

提供するものと、人数によって、どれだけの費用が必要になるのか、計算してみましょう。例えば、カレーライスを30人に提供する場合、材料費を一人100円で計算すると、30人分で3,000円必要になります。

参加費はどうしますか？

活動内容によって、参加費を決めましょう。こどもとおとなの料金はどうするのか、ボランティアの参加費はどうするのか、事前に決めておきましょう。

準備物はどうしますか？

下記のことを参考に、当日までの活動に必要なものを確認し準備しましょう。
例) 受付名簿、名札、つり銭、領収書、食器類（使い捨てにするのも可）、飲み物、筆記用具、教材、チラシ、エプロン等
また、万が一に備えて保険に加入しておくとう安心ですね。（11ページをご参照ください。）

～お金の管理をしっかりと～

食堂等を運営する活動には、お金の出入りが発生します。そのため、会計を明確にしておくことは、とても大切です。

会計役を複数人で担うなど、みんなで管理できる工夫をしましょう。
貯まったお金で、季節イベントを企画するなど、楽しみながら進めるといいですね。

プランニングシート

こどもの居場所を立ち上げるまでに必要な項目について、次のプランニングシートに整理してみましょう。なにが出来ていて、なにが出来ていないのか、チェックししながら準備を進めましょう。

□どんなメンバーで運営しますか？

組織・団体は？（例：PTA、ボランティアグループ、民生委員児童委員、自治会、地区社協等など）

個人で参加する人は？（例：特技や経験を活かせる人、情熱のある人など）

□こどもの居場所を運営する目的は何ですか？

誰を対象に？

活動の目的、コンセプトは？

□どのぐらいの頻度で？いつからやりますか？

1か月に何回？週に何回？

夏休み・冬休みなどの長期休みの間は？

□どこで運営しますか？

会場の広さは？何人くらい入れる規模？

設備は？食事を提供するなら、調理はできる？衛生面は？

□どんな内容にしますか？

食事を提供しますか？学習、レクリエーションを入れますか？

こどもの居場所Q & Aと相談窓口

Q. 地域に周知するにはどうすればいいですか？

A. 学校やPTA、児童クラブなどにチラシを配布する、地域でポスターを掲示する、地域の情報誌に掲載してもらい、SNSで発信するなど、啓発の方法はさまざまです。対象層や人数に応じて、地域団体やPTA、学校、行政、伊丹市社協などに周知方法をご相談ください。

Q. 生活が苦しい家庭の子どもたちに来てもらうにはどうすればいいですか？

A. 学校や伊丹市社協等へご相談ください。どのような方法で情報を届けることが望ましいかなど、一緒に考えさせていただきます。

Q. どんな内容で実施すれば喜んでもらえるのか悩んでいます…。

A. 実施内容よりも、参加者も一緒になってみんなで育てていくことが継続するために大切であると考えています。規模が小さくても、回数が少なくても、地域に子どもたちの居場所があるということに価値があります。

Q. 立ち上げるための準備金がありません。活用できる助成金等がありますか？

A. 共同募金や、民間団体など、さまざまな助成金があります。条件や申請時期等は、助成金によって異なりますので、伊丹市社協のコミュニティワーカーにご相談ください。準備資金を調達するには、地域の事業所や個人から食材や資金の寄付を募ることも効果的です。

Q. 食事を提供すると食中毒のリスクが心配です。なにか手立てはありますか？

A. ボランティア行事保険等、食中毒発生時や、開催中の傷害に対する保険があります。伊丹市社協のコミュニティワーカーにご相談ください。（11ページをご参照ください。）

地域の情報や、実施方法、助成金情報など、こどもの居場所をはじめたい人のサポートをしています。

問合わせ先

伊丹市社会福祉協議会 TEL 072-785-0860

お役立ち情報

こどもの居場所をはじめめる時や、続けていく中で、活動に役立つ助成金や保険、レクリエーショングッズ等の情報をまとめました。

詳細や申込みについては、伊丹市社協のコミュニティワーカーまでご連絡ください。（TEL：785-0860）

“万が一”に備えて(利用できる保険の一例)

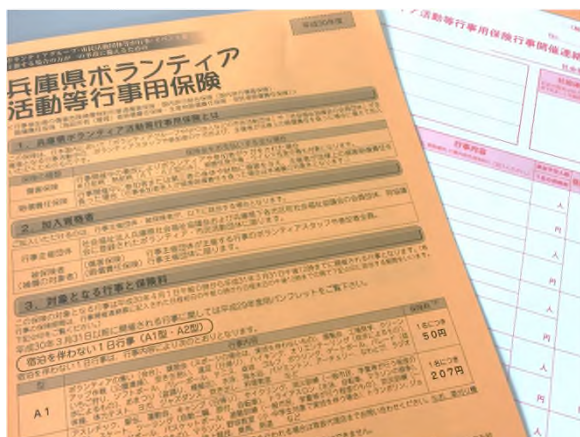
○兵庫県ボランティア活動等行事用保険

行事開催日1日から掛けられる行事用保険です。
参加人数20人以上、1,000円から加入できます。開催日1週間前までに伊丹市ボランティア・市民活動センター（TEL：780-1045）に申し込みが必要です。

○ボランティア市民災害共済

ボランティア活動中の傷害・対人・対物損害に対応してくれる傷害保険です。1人500円（年度掛金）で加入できます。活動日の前日までに伊丹市ボランティア・市民活動センター（TEL：780-1045）に申し込みが必要です。

・その他にも、民間事業者が実施している「こども食堂保険」や、「食品営業賠償共済」など、さまざまなものがあります。



兵庫県ボランティア活動等行事用保険冊子



伊丹市ボランティア・市民活動センター窓口
(いたみいきいきプラザ 1階)

立ち上げ資金のサポート（利用できる助成金の一例）

○赤い羽根共同募金公募助成（窓口：伊丹市共同募金委員会 ☎ 779-8512）

すべての住民が住み慣れた地域で、その人らしく、安心して、安全に暮らし続けられる地域社会づくりを目的に、既存の制度やサービスでは解決できない課題に新しく取り組む先駆的な活動に対して赤い羽根共同募金を助成する制度。

伊丹市内を活動場所としている市民活動団体やNPO団体、自治会、地区社協等を対象に、年間最大10万円、新規事業のみ同一事業で3年間申請が可能です。（但し、毎年審査があります） 助成額は対象経費の8割。申請可能期間があります。

○サロン等新規立ち上げ助成（窓口：伊丹市社協 ☎ 785-0860）

「サロン」とは、地域で孤立しがちな方などのふれあいの場所・居場所として、身近な場所で開催される集いの場です。地域住民が主体となって、こうした場を新たに立ち上げるにあたって必要となる経費の一部を助成する制度で、「こどもの居場所」をつくる際にも適用されます。助成上限額は3万円です。

但し、この助成を受けるには、伊丹市社協の実施する「地域ふれ愛福祉サロン事業」への登録が必要となります。

○「子ども食堂」応援プロジェクト

（窓口：兵庫県健康福祉部社会福祉局地域福祉課 ☎ 078-362-3183）

NPO法人や社会福祉法人等の民間団体が、下記要件を満たす子ども食堂を立ち上げる際、調理器具や食器などの購入費といった必要経費の一部を助成する制度。助成上限額は月ごとの実施回数2回以上で23万円、1回で13万円で、申請可能期間があります。

●要件 ①実施回数：月1回以上 / ②こどもの受入人数：10人以上

また、上記以外にも、民間団体等による助成金があります。参考として一部を下表に

助成団体名	助成事業等	問合せ先	備考
キリン福祉財団	地域ボランティア活動支援	03-6837-7013	
原田積善会	助成事業	03-3701-0425	
福祉医療機構	未来応援ネットワーク事業	03-3438-4756	貧困対策事業対象
大阪コミュニティ財団	助成事業	06-6944-6260	
近畿労働金庫	近畿ろうきんNPOアワード	06-6449-0842	
モバイル・コミュニケーション・ファンド	ドコモ市民活動団体助成	03-3509-7651	
コープともしびボランティア振興財団	地域の居場所立ち上げ助成	078-412-3930	
阪急阪神ホールディングスグループ	未来のゆめ・まち基金	06-6373-5086	
キュービーみらいたまご財団	食を通じた居場所づくり支援	03-3486-3094	
ベネッセ子ども基金	経済的困難を抱える子どもたちの学び支援活動助成	04-7137-2570	貧困対策としての学習支援対象
兵庫県社会福祉協議会	県民ボランティア活動助成	078-360-8845	

レクリエーショングッズの貸出(1)

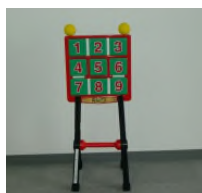
伊丹市社協では、地域ふれあい福祉サロン事業への登録サロン・カフェ向けのレクリエーショングッズを、他の地域福祉活動でも活用いただけるよう貸出を行っています。事前予約が必要ですが利用料は無料です。(地域ふれあい福祉サロン事業優先・先着順) 申込み・問い合わせ：伊丹市社協 (☎ 785-0860)

①輪投げ



的棒に向かって輪を投げ入れるゲームです。(サイズ:50cm×50cm)

②ストラックアウト



的当てピッチングゲームです。年齢、性別、経験者などで、投げる位置も変えてみましょう。

③ダーツゲーム



的に向かって矢を投げるゲームです。色々なルールがあるので、遊び方も広がります。

④的あて(2枚セット)



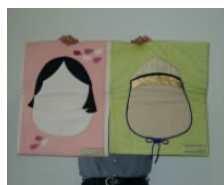
マジックテープのついたボールを得点の付いた的に向かって投げるゲームです。

⑤ボーリング



ボールを転がして、ピンを倒すゲームです。

⑥福笑い



目隠しをして、おたふくさんと大黒さんの顔を完成させましょう。

⑦ピサの斜塔



サイコロを振って同じ色の人形を同じリングの上に乗せよう。人形がはじめになくなった人が勝ち!

⑧スマイル射的



縁日でよく遊んだ射的をゲーム化してみました。個人戦でもチーム戦でも楽しめます。(的サイズ:1段18cm×57cm)

⑨羽根っこゲーム



障がいのある高齢者や、車椅子を使用している方々にも楽しめるよう工夫された的入れゲームです。

⑩ゲームレール



ボールを転がして、ボールの止まった所のランプの点数を競います。(長さ最大410cm×幅25cm)

⑪ビンゴ



カードの番号を、縦・横・ななめにそろえるゲーム。工夫次第で遊びが広がります!

⑫マンカラ



どちらかの陣地から石がなくなり次第ゲーム終了。勝敗のつけ方は、それぞれのルールによって変わります。

レクリエーショングッズの貸出(2)

⑬防災グッズカード



防災に関わるグッズの説明をカードに掲載しています。

⑭競馬でGO



息の合ったチームワークがポイント! 騎手は腕を前後に操作して馬をゴールへ進めます。

⑮フリースタイル輪投げ



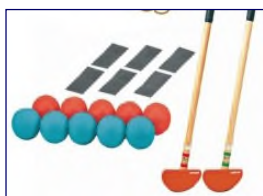
支柱のレイアウトは自由自在。その都度投げ位置を変えて、変化をつけることもできます。

⑯点鳥ルーレット



赤い玉の部分ハンマーで叩くと軽やかな鈴の音とともに風見鶏が得点を告げてくれます。(サイズ:90cm×90cm)

⑰室内ボールゲーム



遊びながら自然に身体を動かすことができます。アレンジ次第でさまざまな室内ボールゲームが楽しめます。

⑱室内グランドゴルフ



ゴルフのようにボールをクラブで打ってホールポストにはいるまでの打数を数えます。

⑲バドミントンシャトル



シャトル5個ずつを交互に投げ合って得点を競い合う対戦型ゲームです。(パネルサイズ:約60cm×60cm)

レクリエーショングッズの貸出(3)

(1) DVD関連

DVD関連	プロジェクター
	スクリーン
	貸出用DVD ●本
書籍	童謡・唱歌懐かしの歌 CD付
	童謡・唱歌200 CDなし
	楽しい壁面かざり12カ月
	音楽レクリエーション DVD・CD付

(2) スポーツ・ゲームグッズ

申込み・問い合わせ：市立障害者福祉センター (☎ 772-0221)

①ポッチャ



2チームに分かれ、的(白いボール)を目掛けて交互に投げる。最終的に一番に近いボールのチームの勝ちです。

②スカイクロス



スタートラインからリング(ディスク)を目標のコーンに向かって投げ、それぞれリング落下地点まで行って、更に第2投目を投げる。それをくり返しながら最後はリングをコーンに投げ入れて(輪投げ)終わるゲームです。

③クオリティ



10本の投げ輪を交互に投げ合い、得点の多いチームの勝ちです。

レクリエーショングッズの貸出（４）

④カローリング



フロアコートで、1チーム3人のプレイヤーが6個のジェットローラを、コートの先端にある直径90cmのポイントゾーンに向け、相手チームのプレイヤーとジェットローラを交互に走行してぶつけ合い、得点を競うゲームです。

⑤わなげ9&Q



従来のわなげの方法で、台の形を変えることにより通常のわなげから難易度を高めたものまでさまざまなゲームを楽しむことができます。

⑥囲碁ボール



打ったボールを目（穴）に停止させることを争います。自分のチームのボールが縦・横・斜めのいずれかの目（穴9）に3つ以上並ぶと得点です。

⑦スローイングビンゴ



5m×5mの的を縦・横5つに区切り、「サンド・レット」と呼ばれる専用の袋を投げて、ビンゴを目指すゲームです。投球袋が、縦・横・ななめのいずれかに5つ揃えばビンゴになります。

⑧Tボール



ティーボールは、野球によく似たゲームで、野球と違うところは、投手がいらないこと。投手が投げたボールを打つのではなく、バッティングティーと呼ばれる細長い台の上に置いたボールを打つので、野球やソフトボールの入門者にとってのスポーツです。

⑨ボール類



★ソフトバレー
★ドッジボール

⑩ゲートボール



チームで行う競技で、木づちでボールを打ち、門（ゲート）を通過させるゲームです。

⑪将棋盤(大)



通常より大きい将棋盤です。

⑫ビンゴゲーム



リモコン付きです。

こどもの居場所をはじめようとしている 人のためのサポートブック

発行日 平成 30 年 5 月 1 日

編集・発行 社会福祉法人 伊丹市社会福祉協議会
〒664-0014
伊丹市広畑3丁目1番地 市立地域福祉総合センター内
TEL 072-785-0860 (地域福祉推進担当)
URL <http://www.itami-shakyo.or.jp/>

伊丹市
〒664-8503
伊丹市千僧1丁目1番地
TEL 072-783-1234 (代表)
URL <http://www.city.itami.lg.jp/>